

自動二輪科 A T (学科有り)

入校から卒業まで 教習の進め方

当校をご利用いただき誠に有難うございます。

教習の進め方は、皆さんが順調に教習を進めていただけるよう、実際の教習にそって作成しております。教習を進める都度、この教習の進め方に進度を記入してください。次に“何をすれば良いのか”が教習の進捗と並行し、理解していただけたと思います。

当校は千葉県公安委員会の指定を受けた公認の自動車学校です。法令による制約を受けておりますので、教習の進め方だけではわからない点もあるかと思ひまので窓口で遠慮なくお問い合わせください。

早く自動車学校に慣れ、1日でも早く安全な運転者として卒業していただけることを願っております。

内容は、平成17年7月1日現在によるもので変更される場合もあります。

千葉県公安委員会指定

実地試験免除

公認 **やちよ中央自動車学校**

〒276-0046 TEL 047-484-8341

千葉県八千代市大和田新田211

<http://www.yac8341.co.jp/>

入 校 日 の 日 程 （自動二輪車の入校日は、原則として日曜日だけです。）

	入 校 日	日 曜 日 ・ 水 曜 日	金 曜 日
挨拶 教習の進め方について		AM. 9 : 10 }	PM. 5 : 10 }
		AM. 9 : 25 }	PM. 5 : 25 }
		AM. 10 : 00	PM. 6 : 00
休 憩		AM. 10 : 00 }	PM. 6 : 00 }
		AM. 10 : 10	PM. 6 : 10
学 科 I-①		AM. 10 : 10 }	PM. 6 : 10 }
		AM. 11 : 00	PM. 7 : 00

入校式では、挨拶に続き、おもに教習の進め方についてご説明いたします。次の時限では、学科「I-①」を受講していただきます。この後でも記載しておりますが、学科「I-①」を受講していないと、総ての教習を進めることができませんので、入校式に引き続き受講していただきます。

この2時限を受け終わりますと、いよいよ本格的な教習開始です。学科教習は各段階によって受講できる番号に決まっていますが、学科予定表により受講することができますものは時間の許す限り受講してください。特に、運転適性については、入校後早い時期に受講していただく学科です、早めに受講してください。

技能教習は予約制です。最初の予約は「リザーブ予約申し込みカード」でお取りします。入校式の時間に集め、学科「I-①」終了後「入校時予約票」をお渡しします。

「～リザーブ予約」を参考に入校式までに記入して下さい。記入方法がわからない場合でも、10日程度先までのご自身の日程を時間単位でメモしてきて下さい。

この「教習の進め方」は、大型自動二輪、普通自動二輪、普通自動二輪小型限定のオートマチック車（スクーター）について記載しております。教習車種および所持免許によって内容が異なる場合は、別々に記載しております、該当欄をご覧ください。特に断りのない場合は共通です。

車種の表記について

- ・「普通二輪」と表記の場合でもこの冊子ではAT限定を意味しており、普通二輪AT限定（400CC）と普通二輪小型AT限定（125CC）を含めます。分ける必要がある場合に限り「普通二輪AT限定」または「小型二輪AT限定」と表記しております。

入 校 式

～最初の技能教習予約

～送迎バス利用の注意

〈 〈 〈 〈 〈 受けられる教習 〉 〉 〉 〉 〉 〉

☆ 学科教習 「Ⅰ-②」～「Ⅰ-⑩」・運転適性

★ 技能教習 入校式の時にお取りします

- いよいよ本格的な教習開始です。教習は、技能と学科を並行して進めますので計画的に教習を進めることが卒業の近道です。

学科予定表に来校できる日、できない日を記入して学科教習受講の予定を立て、さらに技能教習の予約を記入すると全体の予定が把握できるかと思います。

最初の技能教習予約

- 最初の技能教習予約は「リザーブ予約申し込みカード」(この小冊子にはさんであります。)でお取りします。
- 「リザーブ予約申込カード」の記入方法は、次のページで説明しておりますが、記入方法がわからない場合でも、10日程度先までの来校できる日、できない日を時間単位でわかるようにしておいてください。一般的に最初の技能教習は、学科の予定を考えずに予約したほうが、教習が早く進みます。

送迎バス利用について

- 無料の送迎バスを各方面に運行しております。時刻表は受付に用意しております。ご利用方法は受付でお問い合せください。
- 時刻通りの運行を心がけております。予定時刻より早く通過することはありませんが、道路の状況によっては大幅な遅れが生じ、やむを得ず迂回する場合があります。5分以上待ってもバスが来ない場合は、お手数ですが学校へ電話連絡してください。無線で運行状況を確認しお知らせします。なお、連絡の際はバスコースの見えるところでお願いします。電話をしている間に行ってしまった例も見うけられます。
- 教習は、送迎バスの遅れでも教習開始時間に間に合わないとき、法令により教習を受けることができません。大事な学科は時間に余裕を持ってご利用ください。
- 時間に遅れそうな場合は、送迎ドライバーが教習内容をお伺いしますので遠慮なく申し出てく ださい。教習が受けられない場合でもキャンセル料が掛からないよう処理しております。
- キャンセル待ちは、所定の時間に間に合わないときは、送迎バスご利用の場合であっても入 力できません。ご了承ください。

リザーブ予約について ～リザーブ予約

リザーブ予約申し込みカードの記入

- リザーブ予約申し込みカードは、機械で読みます。折り曲げたり、汚したり、指定された欄以外の記入はしないでください。

名前を記入してください。

入校式で教習生番号が決まり、教習生カードをお渡しします。
入校日まで記入しないで下さい。

「普自二」or「大自二」にマークしてください。

この欄は絶対に記入しないでください。
上の欄記入の際、線を延ばしすぎる場合があります。

氏名		月	日	時限	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	曜日	
		8:10	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10	14:10	15:10	16:10	17:10	18:10	19:10				
リザーブ予約申込カード	教習車種	1	2	3	4												やちよ中央自動車学校
	コード番号	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
	普通	0	0	0	0												
入校日	8	8	8	8													
入校日	9	9	9	9													

入校日当日記入します。入校日まで記入しないで下さい。

入校日を記入してください。

左の日付より順に記入してください。

これる日、時限にマークしてください。

曜日を記入すると間違えが少なくなります。

- 来校できる日が少ないと教習の開始が遅くなります。学科教習は多く実施していますので、学科の予定は考えずマークした方が、一般的に教習が早く進むようです。

マーク記入例

悪い例



線が細い、短い、はみ出さないように記入してください。消すときも、きれいに消さないと誤読します。

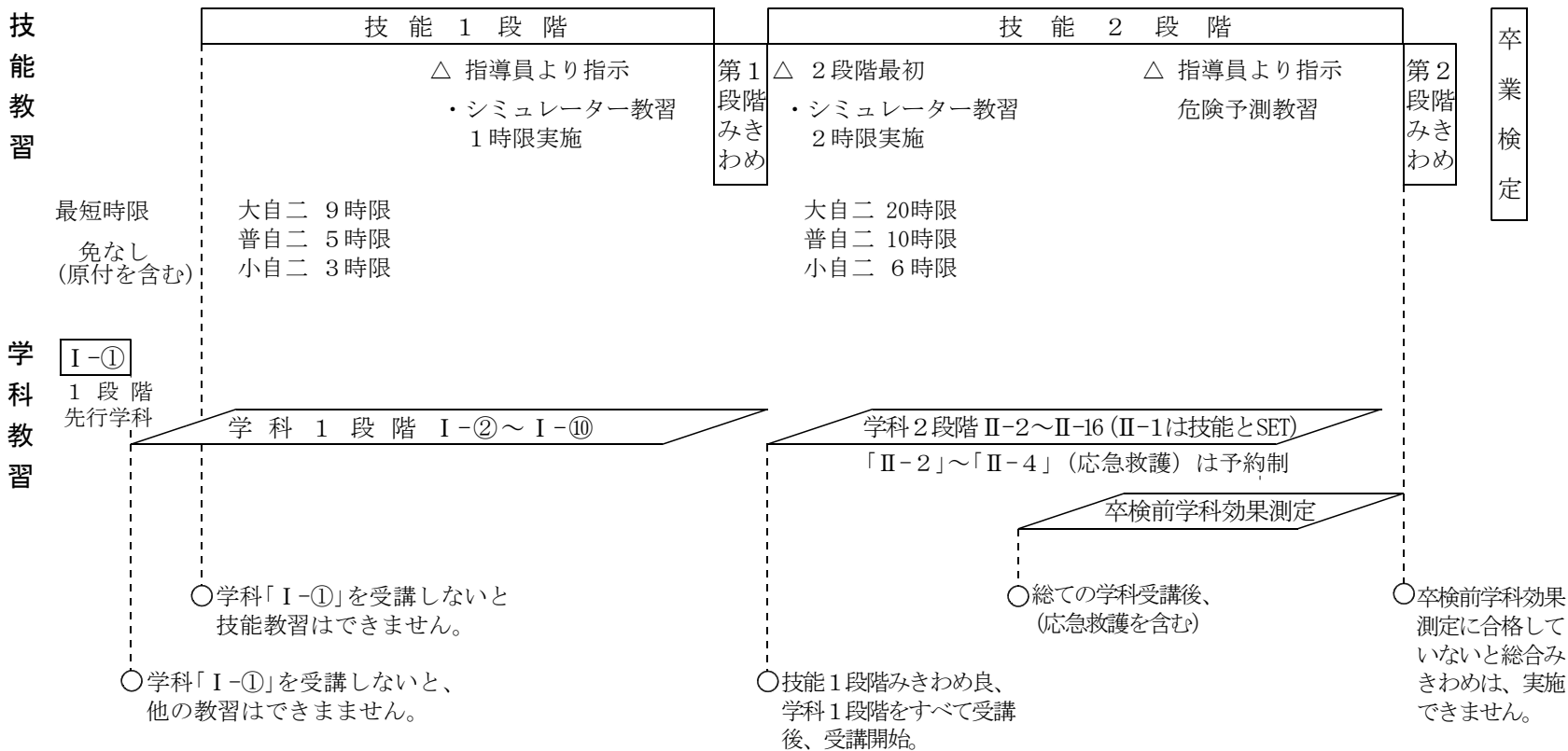
良い例



定規で引く必要はありません、濃い太めの鉛筆で記入してください。鉛筆以外の記入は読めません。

教習の流れ

～流れ図～



○ この表は、教習全体の流れをおおむね表しています。詳しい内容は、各段階毎に説明しております、教習の進みと対応しながら、次の教習を進めてください。

教習の流れ

教 習 の 期 限
～教習の期限
～卒業検定までの期限
～卒業証明書の期限

教習の期限

- 教習の期限は教習開始日から9ヶ月です。教習開始日とは学科教習を最初に受講した日、ですから学科「Ⅰ-①」を受講した日です。また、学科免除の方は最初の技能教習を受けた日が教習開始日となります。
- 教習有効期限は法令により定められた期限であり、延長することはできません。
- 教習の有効期限までに、技能教習第2段階のみきわめが「良好」にならなければなりません。これは卒業検定に合格しなければならない期限とは異なります。
- 9ヶ月は長いと感じるかもしれませんが過ぎてみると短いものです。日程の都合で時間の取りづらい方も、長い期間ブランクを空けることのないよう欠かさず進めることが卒業への近道です。1ヶ月、2ヶ月と空いてしまう方に期限が切れてしまう方がいらっしゃいます。
- 教習の期限が切迫してしまった場合は、受付にご相談ください。参考となるアドバイスができる場合があります。

卒業検定までの期限

- 卒業検定までの期限は技能教習第2段階の総合みきわめが「良好」となった日から3ヶ月です。技能教習第2段階の総合みきわめが「良好」となると教習はすべて修了したことになりますのでそれまでの有効期限とは関係がなくなります。ですから、みきわめが「良好」となった日から3ヶ月以内に卒業検定に合格しないとそれまでの教習はすべて無効となってしまいます。

卒業証明書の有効期限

- 卒業検定合格の日から1ヶ年です。この期間を過ぎると、すべてが無効となります。
(審査は3ヶ月)

学科教習と教習原簿

～学科教習

～教習原簿

学科教習

- 学科「Ⅰ-①」を最初に受講してください。学科教習は2段階に分かれており、技能教習の段階によって受講すべき時期が決まっています。各段階毎の教習の進め方に従って受講してください。
学科教習は、学科予定表（受付カウンターに用意）に従って実施します。段階毎に受講しなければならない番号は、各自、日程を立てて早めに受講するようにしてください。
- 教習は開始時間に遅れると受講できません。本鈴とともに施錠しますので遅れないよう来校してください。また、途中で席を空けることもできません。
- 受講の際には教習原簿が必要です。教習原簿を持って教室に入ってください。
- 担当指導員が教習原簿の所定欄に押印します。教習原簿が教習受講の証となりますので、押印番号等記載内容に誤りがないか必ず確認してください。その場で申し出のない場合は無効となります。教習終了後教習原簿は、原簿返却箱に必ず返却してください。
- 学科教習は、1・2段階の区分を間違わなければ、必ずしも押印番号順に受講する必要はありませんが、できるだけ番号順に受講してください。（予約制の学科教習を除く。）
- 効果測定（卒検前）に合格することが、卒業検定そして卒業の条件の1つとなっています。自らも努めて学習するよう心がけましょう。

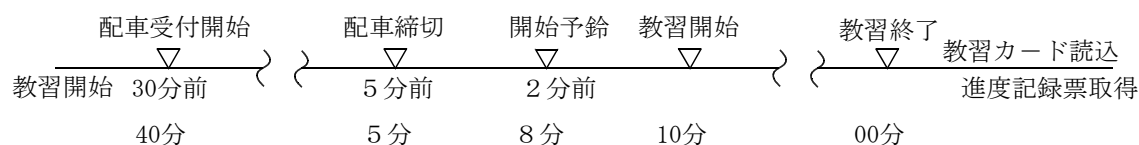
教習原簿

- 技能教習、学科教習とも受講した内容はすべて教習原簿に記録し、それまで受けた教習の証となります。教習原簿を紛失するとそれまでの教習はすべて無効となります。教習終了後は速やかに原簿返却箱に返却してください。
- 教習原簿は原簿ラックに保管しております。教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。各自の原簿が3cm程度です。ご自分の教習原簿に間違いがないか教習生番号、名前をよく確認してください。教習原簿取り出し後、教習生カードを忘れる人が多くいらっしゃいます。忘れずお持ちください。
- 教習原簿は、教習生番号毎のプラスチック製ホルダーに入れてあります。ホルダー背にある爪によって原簿が検索されます。爪が折れると原簿が出ず、教習が受けられない場合がありますので破損してしまった場合は速やかに受付にお申し出ください。故意にホルダーを破損した場合500円を申し受けます。
- 住所、氏名等は、現有免許証、または、住民票に基づき記載しております。記載内容に誤りや変更がありましたら決められた手続きに従って訂正します。各自訂正、加筆せず速やかに受付に申し出てください。また教習の記載事項に誤りがあった場合は、各自で訂正、加筆するとその教習が無効になる場合もありますので、速やかに受付に申し出てください。

技能教習

- 学科「Ⅰ-①」を受講しないと技能教習は受けられません。
- 技能教習は予約制です。「予約の取り方」（別途記載）に従ってお取りください。なお最初の技能教習予約は、入校式のときにお取りします。
- 技能教習を受ける際は、教習開始5分前までに配車機で配車の手続きをし、配車券を取得していただきます。教習開始前でも配車の締め切り時間に遅れると無断キャンセル扱いとなり教習が受けられず、また、キャンセル料が掛かります。
- 技能教習を受ける際は、運転しやすい服装、はきもの、免許条件にあった用意がないと教習が受けられません。
 - ・ヘルメット JIS規格普通二輪、大型二輪用のジェット型またはフルフェイス。半キャップは、禁止しております。小型二輪は、125cc用で可。
 - ・手袋 できるだけ革製のグローブ、又は、二輪専用のグローブ。
 - ・靴 かかとがあり、なるべく革製のもの、ひも類の付いていないもの。
(サンダル不可、スニーカー可)
 - ・服装 転倒時のけが防止のため、長袖、長ズボンで動きやすい服装。雨天でも教習を行います。雨天の際は、雨具を用意してください。
 - ・教習の条件 原簿に教習の条件が記載されている方は、眼鏡やコンタクトなどを着用しないと技能教習が受けられませんのでご注意ください。
- 技能教習は、2段階に分かれております。各段階の最後に習得状況の確認「教習効果の確認」（みきわめ）が行われ、結果が良好でないと次の段階に進むことができません。
- 技能教習2段階みきわめが「良好」となった当日に、別の予約がある場合は教習終了後速やかに申し出てください。
- 翌日以降の予約で自由教習を受けない場合は、各自キャンセルの手続きをしてください。
前日PM. 5:00をすぎ、キャンセル料が効かってしまう場合は、係りに申し出てください。
- 1段階は1日2時限を越えて受けることはできません。2段階は1日3時限まで教習できます。ただし、3時限連続教習はできません。あいだに1時限以上（昼休みも可）休憩をしていただきます。また、シミュレーターによる教習は2時限連続では教習できません。

技能教習の手続き



技能教習の手続きや予約の取り方等については、最初の技能教習のときに説明します。最初の技能教習は、教習開始30分前までにおいでください。

技 能 教 習

～配車手続き

～教習開始の予鈴

～教習読込カード

配車手続き

- 技能教習受講の際は、必ず配車手続きをし配車券を取得していただきます。配車券を取らないと、無断キャンセルとなります。キャンセル料が掛かり、技能教習も受けられなくなります。
- 配車受付は、教習開始30分前から5分前までです。時間に遅れないようしてください。
予約機が3台設置してありますが、通常、向かって左の予約機が時間になると「配車受付中」に変わります。入校時にお渡しした教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。自動的に配車券が発行されます。

教習開始の予鈴

- 教習開始2分前に予鈴になります。コース二輪棟へ行き、担当指導員の指示に従ってください。
シミュレーターによる教習および危険予測教習は二輪棟2階です。
- 教習には教習原簿が必要です。教習原簿と配車券を担当指導員に渡してください。

教習読込カード

- 教習終了後、担当指導員が教習原簿と「教習読込カード」をお渡しします。教習終了後は速やかに、教習読込カードをカウンターに設置してあるカードリーダーで読ませ、進度記録票の発行してください。進度記録票は、その時限の教習内容を印字したレシートです。教習原簿の「教習項目」「修了した項目」等に間違いがないか確認してください。間違いがあれば係員にお申し付けください。カード読込を忘れると、次の教習に進めません。
教習の段階が進むと進度記録票にメッセージが印字されることがあります。メッセージの内容によっては、予約の調整、検定等申し込み等が必要になりますので、注意してください。

技能教習の予約

～技能教習の予約

～技能教習料金

技能教習の予約

- 当校では公平に、正確に、そしてよりスムーズに教習を進めていただくため最新のコンピューターシステムによりすべて運営されております。
- 予約はインターネット、携帯電話でも24時間できます。操作方法、パスワードは入校時予約票に記載しております。不明な場合は受付にお問い合わせください。なおパスワードの電話等によるお問い合わせにはお答えしておりません。パスワードがわからなくなってしまった場合は、教習生カードを持って受付でお問い合わせください。
- 予約機を3台設置しております。予約画面上に表示されるメッセージに従って操作していただければ予約が取れます。予約を取ったりキャンセルすると、最新の予約内容が教習生カードに印字されますので、再度確認してください。不明な点がありましたら遠慮なく係員にお尋ねください。
- 予約の取り方、配車の手続きの仕方は、最初の技能教習のときに係員が説明します。最初の技能教習は、教習開始の30分前に来校してください。
- 技能教習料は前金制となっております。技能教習料科目または「フリー入金」に必要な残高がないと予約が取れません。
- 最初の技能教習の予約は、入校式の時に一括して取ります。予約機では取れませんのでキャンセルしないようご注意ください。やむを得ずキャンセルした場合は受付に申し出て予約の取り直しをしてください。
- 当日の技能教習予約は取得時限枠に含みません。翌日以降の予約は時間に余裕のある時に、早めにお取りください。また、各段階の初めのうちは取得時限枠いっぱいまで予約をお取りください。予約の取得時限枠を有効に使っていただかないと教習の進みが遅くなってしまいます。
- 教習の途中でシミュレーターによる特別な教習があります。各段階の中で説明しておりますが、別途予約が必要です。このような場合、進度記録票にも表示されます、常に進度記録票の確認をお願いします。

技能教習料等の料金

- 入校時に入金していただいた技能教習料は、「フリー入金」という科目の預り金で教習生毎にコンピューター管理しており、技能教習を受講の都度、引き落とされます。「フリー入金」に技能教習料相当の残高がないと予約できません。（学科教習は不要）
- 「フリー入金」は、技能教習料をはじめ、学科試験・技能検定・問題集の購入等にご利用いただけます。反面、入校時規定時限の技能教習料を入金の場合でも、その他の科目で使うと教習の後半で不足となります。
残った「フリー入金」は卒業の際払い戻しいたします。料金不足の際は、教習進度により多めに入金していただくと便利です。
- 技能教習料、学科試験料・検定料等を各科目で入金することもできます。その場合、他の科目で使われてしまうことはありませんが、他の科目として使うこともできません。使わなかった料金の払い戻しはすべて卒業時となります。
- 未払いのキャンセル料がある場合、「フリー入金」の残高はキャンセル料を引いた残高で計算されます。

技能教習の予約

～技能教習予約の数

～予約のキャンセル

技能教習予約の数

- 技能教習は予約制です。（学科教習は、一部の学科を除き予約の必要はありません。）
- 短期プランなどの予約が優遇されるプランで入校の方を除いてはベーシックプランの皆さんは、以下のような技能教習の予約により教習を進めていただきます。
 - ・大型二輪………4時限予約できます、1日に2時限の予約可。
 - ・普通二輪………3時限予約できます。1日に2時限の予約可。
- 当日の技能予約は数えません。従って、予約がある日は技能教習を受ける前から技能予約ができます。早ければ空いている時限も多いかと思いますので、時間に余裕のあるとき早めに技能予約をお取りいただくか、または、インターネットや携帯電話で事前に予約してください。
- 技能教習は、1段階では1日2時限、2段階は3時限まで乗車することができます。予約以外に技能教習を受けたい方はキャンセル待ち抽選をご利用ください。
- 2段階で1日に3時限乗車する場合、3時限連続では教習できません、3時限の間に1時間以上の休憩をはさまなければなりません。また、2段階最初に実施するシミュレーターによる教習も2時限連続では教習できません。

技能教習予約のキャンセル

- 都合により技能教習の予約をキャンセルする場合は、予約機でキャンセルの処理をするか、電話で係員に連絡してください。インターネット、携帯電話でもキャンセルできます。なお当日分の予約キャンセルは予約機ではできません。直接受付または電話でキャンセルするか、インターネット、携帯電話をご利用ください。
- 定められた時間までにキャンセルの手続きをしなかった場合、違約金として所定のキャンセル料金がかかります。予約した教習が受けられない場合は、速やかにキャンセルの手続きをしてください。

・無断キャンセル	1,500円（1時限につき）
・教習開始5分前まで	1,000円（1時限につき）
・前日PM. 5：00まで	無 料

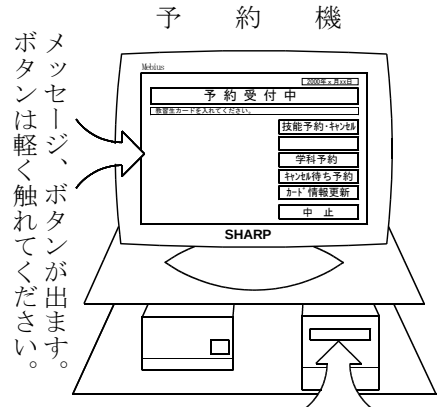
（前日が休校日の場合は休校日の前日。業務終了がPM. 5：00前の場合は業務終了前）

予約機～の操作（技能予約）

① 教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。

② 右上 **技能予約・キャンセル** に触れてください。

- ・教習進度によりコンピューターが次に行うべき教習の空き状況を表示します。
- ・青の表示が予約可能です。
- ・赤・緑の表示は予約を持っている時限です。
- ・水色の表示は空きがありますが、取得時限枠や法令の制限で予約できません。予約変更の参考にしてください。
- ・各時限の下に受講しなければならない学科教習の予定が表示されます。予約の参考にしてください。



教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向に差し込んでください。

③ 予約するときは、青色表示の空いている希望時限に触れてください。キャンセルしたいときは、予約済みの時限に触れるとキャンセル処理になります。

間違えた場合は別の時限に触れ直してください。

再度同じ時限に触れる事で選択の解除をすることも出来ます。

④ 間違いがなければ **確認** に触れてください。さらに予約を取る場合は、③に戻ります。

⑤ 予約、キャンセルがすべて終わったら **完了** に触れてください。

「完了」でそれまでの処理が確定され、カード情報が書き変わります。 **中止** に触れると、それまでの処理は何も行わなかったことになり、カード情報ももとのままです。

- 予約機の操作では、事前に日程を調べ速やかに処理できるようご協力をお願いします。
- 各時限の下に学科予定が表示されています。未受講の学科押印番号が表示されますので、予約の参考にしてください。
- 予約を取ったり、キャンセルした場合は、最新の予約内容が教習生カードに印字されます。再度確認してください。

予 約 機

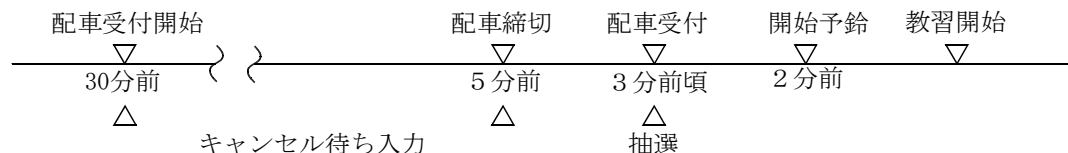
～キャンセル待ち入力

～キャンセル待ち

キャンセル待ち

- キャンセル待ちは、技能教習の当日キャンセル等で指導員に空きがでた場合に、乗車を希望する人の中から抽選を行い乗車していただくシステムです。
- キャンセル待ちは、予約の取得時限枠には含みませんので予約があってもキャンセル待ちはできます。また、当選しても持っている予約に影響はありません。
- キャンセル待ちの抽選は、最新のコンピューターシステムによって行っております。
キャンセル待ちを希望する時限の教習開始30分前から5分前までに予約機で入力していただきます。配車締切後抽選を行い、当選の方を放送でお呼びします。係員にわかるよう大きな声で返事をし、確認を受けてから、通常通り配車券を取ってください。

キャンセル待ちのタイムスケジュール



キャンセル待ちの入力

- ① 教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。
- ② 右上から4番目 **キャンセル待ち予約** に触れてください。
- ③ 毎時限ごとの入力です。空車表示が次の時限であることを確認の上、車の絵に触れてください。
- ④ 間違いがなければ **確認** に触れてください。
- ⑤ 最後に **完了** に触れてください。

キャンセル待ちの取消は、予約取消と同じです、入力済みの車の絵に触れてください。

- キャンセル待ちの入力回数はポイントとして加算され、比較的ポイントの高い方から当たるようになっています。キャンセル待ちに当たったり、当たっても不在の場合は、それまでのポイントが「0」になります。当選して名前が呼ばれたら大きな声で、返事をしてください。キャンセル待ちに当たらなかったからといって、取消をするとポイントになりません。
- キャンセル待ち入力の際に、技能教習料やそれに相当するフリー入金の残高が不足していると入力できません。
- 1日に受けられる技能教習時限数の制限を越えることはできません、すでにその時限の予約を取っている場合は、キャンセル待ちの入力ができません。

技能1段階「シミュレーター教習」の予約

- 一定の項目（～進捗とチェック 参照）が修了すると、シミュレーターによる教習を実施します。おむね技能教習1段階の中程です。担当指導員より指示があります。「シミュレーター指示」が出ると、シミュレーター教習を受けないと次の実車教習に進めません。
 - シミュレーター教習は通常の技能教習の予約とは異なります。予約の空き状況も、通常の技能教習とは異なり、持っている予約が自動で切り替わる事はありません。
 - シミュレーター教習を受けないと次の実車教習に進むことは出来ません。予約の際シミュレーター教習より前になる予約は、自動的にキャンセルになります。
 - 自動キャンセルにはキャンセル料はかかりません。PM. 6:30以降の予約取消処理による翌日分の予約キャンセルは、キャンセル料がかかります。「シミュレーター指示」等教習進度によりキャンセルが必要な場合は、処理前に係員にお問い合わせ下さい。
 - シミュレーター教習は予約枠に含めません。シミュレーター教習1時限と、大型二輪は実車4時限合計5時限、普通二輪は実車3時限合計4時限予約できます。
 - 予約機で通常の技能教習と同じ「技能予約・キャンセル」に触れていただくと、コンピューターが教習進度、予約状況により次に予約すべき教習の空き状況が表示されます、また、予約可能な空きは青色で表示されますので、来校できる一番近い日で予約していただければ結構です。
 - シミュレーター教習も、通常通り配車の手続きをしてください。教習は、二輪棟2階シミュレーター室で行います。技能2段階で実施する「シミュレーター教習」、「危険予測」も同じです。
- 不明な点は遠慮なく係員にお問い合わせください。

技能2段階 1・2時限目「シミュレーター教習」の予約

- 技能1段階のみきわめが「良好」になると、いよいよ2段階です。技能教習2段階の最初の2時限は、シミュレーターによる教習です。シミュレーター教習2時限を実施しないと実車教習は実施できません。
 - 学科1段階を全て受講していないと、技能教習2段階へ進めません。予約もできません。
 - 1回目と、2回目のシミュレーターの教習内容は違い、空き状況も異なります。1回目のシミュレーターの予約をすると、コンピューターが予約状況により自動的に、2回目のシミュレーターの空きを表示します。
 - シミュレーター教習は予約枠に含めません、シミュレーター教習2時限と、大型二輪は実車4時限合計6時限、普通二輪は実車3時限合計5時限予約できます。空き状況によっては、シミュレーター2時限と、実車教習1時限の、計3時限を1日で実施、予約可能です。予約可能な空きは、青色で表示されます。
- シミュレーターによる教習は、法令により2時限連続で教習できません。間で1時間以上の休憩（昼休みも可）が必要です。
- 予約機の予約操作、自動キャンセルの扱い、配車手続き等、技能1段階シミュレーターと同様です。

予 約 機

- ～特殊教習の予約
- ～応急救護の予約
- ～応急救護の受講

技能2段階「危険予測」の予約

- 一定の項目（～進捗とチェック 参照）が修了すると、危険予測の教習です。おむね技能教習2段階の中程です。担当指導員より指示があります。「危険予測指示」が出ると、危険予測受けないと次の実車教習に進めません。
- 危険予測は、シミュレーターによる技能教習1時限と、学科教習1時限の、2時限連続教習です。空きは1時限目を表示します。1時限の予約で2時限分の予約処理になります、指定時限より2時限、来校できる時限で予約してください。
- 危険予測後、大型二輪は実車5時限目、普通二輪限定なしは実車2時限目、普通二輪小型限定は次の時限がみきわめです。みきわめはすべての学科教習を受講して卒検前学科効果測定に合格していないと予約できません。危険予測で学科押印番号「Ⅱ-1」を実施します。危険予測受講までにその他の学科教習を受講し、危険予測受講後すみやかに卒検前学科効果測定に合格するよう努めてください。
- 空き状況によっては、危険予測予約後の同じ日に、実車教習を予約することもできます。予約可能な空きは、青色で表示されます。
- 予約機の予約操作、自動キャンセルの扱い、配車手続き等については、技能1段階シミュレーターと同 様です。

シミュレーター等のキャンセル待ち

- シミュレーター教習も通常と同じ操作でキャンセル待ちが出来ます。シミュレーター、危険予測として特別入力する必要はありません。

応急救護学科の予約

- 応急救護学科は3時限連続の教習です。予約機で教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向に軽くリーダーに差し込んでください。「学科予約」に触れると応急救護学科の空き状況が表示されます。空きは最初の時限を表示します。1時限の予約で3時限分の予約処理になります。指定時限から3時限連続して受講できる時限で予約してください。
- キャンセル料は技能教習と同じ扱いです。キャンセルしないようにしてください。やむをえずキャンセルする場合は、早めに連絡してください。

応急救護学科の受講

- 技能教習のように配車手続きをする必要はありません。教習開始の予鈴が鳴ったら、1階奥の第3教室に教習原簿を持って集合してください。担当指導員が出欠の確認を行います。
- 教室では履き物をぬぎ、じゅうたんの上で応急救護実技の練習を行います。動きやすい服装で受講してください。教本は「応急救護処置」テキストを使います。

技能教習 1 段階
～学科教習の進度

〈 〈 〈 〈 〈 受けられる教習 〉 〉 〉 〉 〉 〉

☆ 学科教習 運転適性・「Ⅰ-②」～「Ⅰ-⑩」

★ 技能教習 1 段階

学科教習の進度（運転適性検査）

運転 適性	受講日	時限
	/	

運転適性検査は、入校後、はやい時期に受講していただく学科です。
おおむね技能教習 5 時限目までに受講してください。受講していない
とその後の技能教習、予約ができなくなります。

小型二輪は 1 段階修了までに受講してください。受講していないと
2 段階に進むことが出来ません。

運転適性検査の結果は、受講後 1 週間前後で教習原簿にはさんでお手元にお届けします。

運転適性検査結果の診断書は、2 段階学科「押印番号Ⅱ-6」で使います。各自大切に保管
し学科受講の際は必ずお持ちください。

（原簿にはさんだままにしておくとは紛失の可能性があります。）

学科教習の進度（学科 1 段階）

番号	受講日	時限	番号	受講日	時限	番号	受講日	時限	番号	受講日	時限	番号	受講日	時限
1	/		3	/		5	/		7	/		9	/	
2	/		4	/		6	/		8	/		10	/	

○ 受講した学科教習を記入してください。学科 1 段階は、技能 1 段階修了までに受講してくだ
さい。学科 1 段階に未受講があると、技能 2 段階へ進めません。

大型二輪、普通二輪教習では、仮免前学科効果測定（中間テスト）は必要有りません。

技能教習 1 段階
～教習の目標
～教習の記録

◎ 技能 1 段階の目標 基本操作及び基本走行

- ① 運転装置の働きを理解し、正しい手順で操作できる。
- ② 正しい運転姿勢で基礎的な走行ができる。
- ③ 確実かつ円滑な運転操作ができる。
- ④ 車両特性等に応じた基本的な走行ができる。

教習の歩み

大型二輪 A T 限定 9 時限

実車1-1	実車1-2	実車	シミュレータ-I-1	実車	実車	実車	実車	実車
-------	-------	----	------------	----	----	----	----	----

普通二輪 A T 限定（ 400CC） 5 時限

実車1-1	シミュレータ-I-1	実車	実車	実車
-------	------------	----	----	----

小型二輪 A T 限定（125CC） 3 時限

実車1-1	シミュレータ-I-1	実車
-------	------------	----

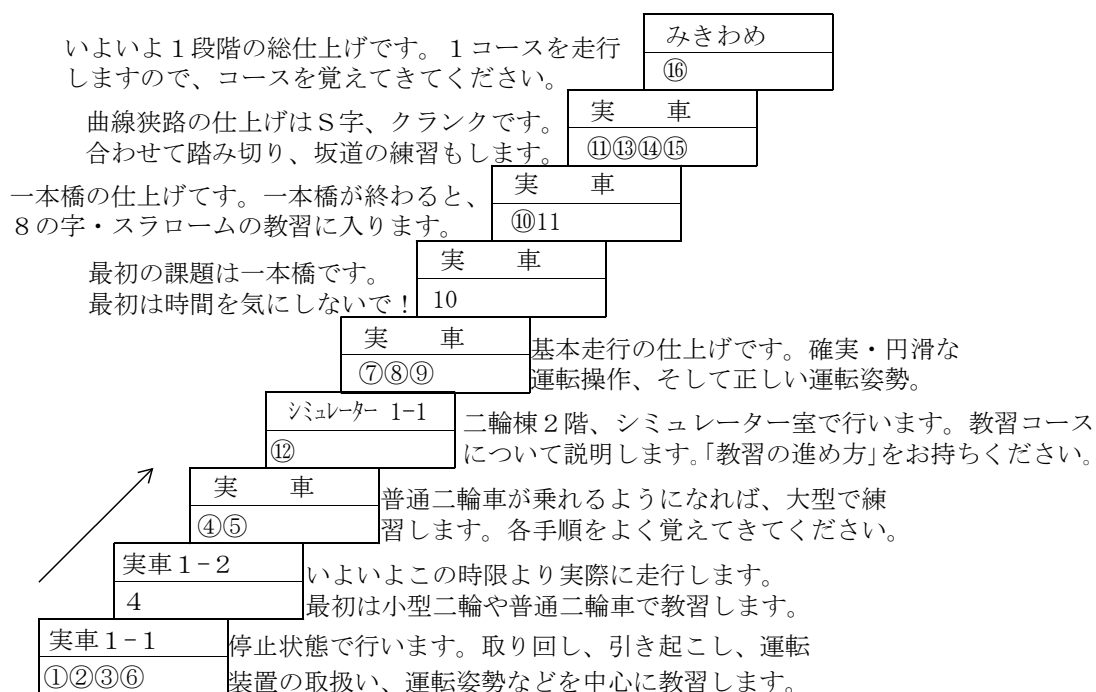
- 1 段階最初の教習で、技能教習受講の手続きについて係員が説明しますので、教習開始30分前にお越しください。教習原簿は取り出してあります。教習前に学科教習を受講する場合は、受講前に受付にお申し出ください。
- 2 時限連続で予約の場合もありますが、1 時限目教習終了後「教習カード読込」と2 時限目の「配車手続き」が必要です。

教習の記録

月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									

教習の Step（大型二輪 AT 限定）

おおよその教習内容を現しています、
予習、復習の参考にしてください。



上段 どんな教習ですか？

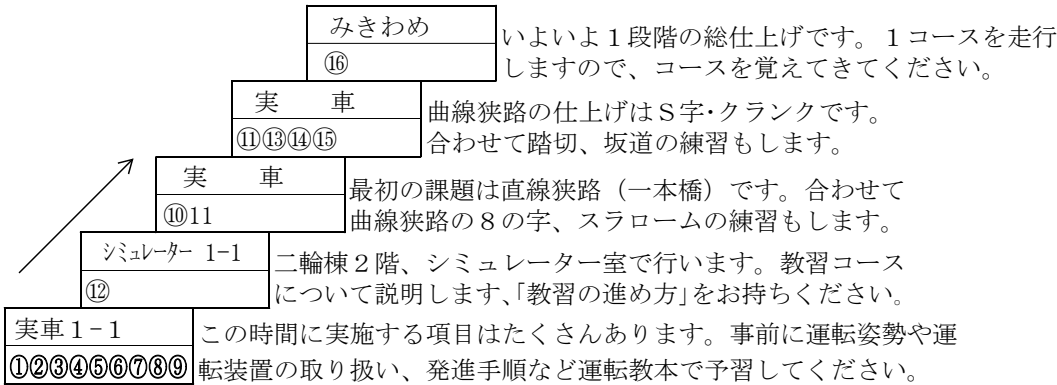
下段 実施予定の教習項目です。

○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

技能教習 1 段階
～教習のStep
普通二輪 AT限定
小型二輪 AT限定

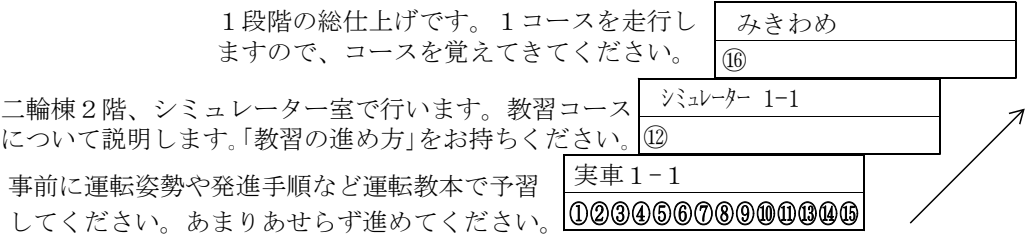
おおよその教習内容を現しています。
予習、復習の参考にしてください。

教習のStep（普通二輪 AT限定）



上段 どんな教習ですか？
下段 実施予定の教習項目です。
○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

教習のStep（小型二輪 AT限定）



小型二輪教習は、法令により決められた最短期限の中に、多くの課題が盛り込まれています、予習復習を特に十分行ってください。

進捗とチェックの記入

- 「項目の修了」 教習原簿の各項目に履修印が押された月日を記入してください。
- 「教習項目」 教習原簿に記載された教習項目です。
番号順に記載しておりません、おおむね、修了する順に記載しておりますが、実際とは異なる場合もあります。
- 「確認」 上に記載された教習項目が修了した時点で「終わっていない教習」、「見ておいていただきたい説明」、「次回用意していただきたい事柄」等を記載しております。

- 教習の進捗とチェックは、「予約を取っていないかった」等により教習が滞ってしまうことのないよう作成致しました。不明な点は遠慮なく係員にお問い合わせください。

技能教習の進捗とチェック

項目の修了 教 習 項 目

- | | | |
|-----|----------------------------------|--|
| 月 日 | 1 車の取り扱い | |
| 月 日 | 2 自動車の機構と運転装置の取扱い | |
| 月 日 | 3 運転姿勢 | |
| 月 日 | 4 ブレーキ操作の仕方 | |
| 月 日 | 5 発進及び停止の仕方 | |
| 月 日 | 6 安全走行 | |
| 月 日 | 7 円滑な発進・加速 | |
| 月 日 | 8 速度の調節 | |
| 月 日 | 9 ブレーキ操作 | |
| | 確認 運転適性は受講しましたか？ | |
| | 次回シミュレーターです。シミュレーターの予約をしてください。 | |
| 月 日 | 12 車両特性を踏まえた運転 | |
| | 確認 学科 1 段階は、受講しましたか？ | |
| | 技能 1 段階もあと少しです、学科 1 段階を受講していないと、 | |
| | 技能 2 段階へ進めません。 | |
| 月 日 | 10 バランスのとり方（直線） | |
| 月 日 | 11 バランスのとり方（曲線） | |
| 月 日 | 13 坂道の通過 | |
| 月 日 | 14 坂道における停止及び発進 | |
| 月 日 | 15 オートマチック車の運転 | |
| 月 日 | 16 教習効果の確認（みきわめ） | |
| | 確認 次回から 2 段階です。 | |
| | 技能 2 段階の最初は、シミュレーターによる教習です。また、 | |
| | 応急救護学科も予約できます。予約をお取りください。 | |

技能教習 1 段階

～ワンポイント 1

教習項目とワンポイントアドバイス

1 車の取扱い

- ・ センタースタンドは、スタンドの両足を地面につけ、スタンドに体重を乗せ引き上げると簡単にあがります。
- ・ 車の取り回しは、体から車体が離れすぎると、不安定になります。

2 自動車の機構と運転装置の取扱い

- ・ 乗車
後方確認～車体をおこす～サイドスタンドを右足で払う～後方確認～乗車～ミラーの確認
- ・ エンジンのかけ方
スイッチON～キルスイッチ確認～ブレーキレバーをにぎる～スターターボタン

3 運転姿勢

- ・ つま先はまっすぐ前方に向け、ステップボードから足がはみ出さないようにする。
- ・ 背筋はまっすぐ、腕は軽く曲げる程度です。

4 ブレーキ操作の仕方

- ・ ブレーキは前・後輪同時に使うのが基本です。前・後輪共に一気に強くかけないで、「ジワァ」とかけるようにしましょう。

5 発進及び停止の仕方

- ・ 発進の手順
左右後方確認～右合図～右後方再確認（確認は直接目視）～エンジン回転を少しあげる～後輪ブレーキを徐々に緩める
- ・ 停止の手順
左合図～左による～停止～合図消す～エンジン停止

6 安全走行

- ・ 四輪車・二輪車ともに死角がたくさんあります。特に、四輪車の死角を理解することにより、四輪車の死角に入らない走行、防衛運転も必要です。

7 円滑な発進・加速

- ・ 実際の道路での発進をイメージして練習します。他の交通に合わせた円滑な操作をするために、各手順をもう一度覚えましょう。

9 速度の調節

- ・ 所内30Km制限速度です。30Km出すことも目標です。（状況によって）また、カーブの手前では十分に減速します。カーブに入る前に、減速を終わらせるようにしましょう。

教習項目とワンポイントアドバイス（続）

9 ブレーキ操作

- ・ ブレーキは、前後輪ブレーキを同時に使うのが原則ですが、ブレーキをかけると、車重が前輪に多く掛かるため、前輪ブレーキの方が効きがよいので、速度の速いときなどは、前輪ブレーキの割合を強くします。

10 バランスのとり方（直線）

- ・ 落ちないようにと、すぐ近くに目線が行ってしまいますが、近くを見ていると逆に方向感覚がつかみにくくふらついてしまいます。一本橋の出口付近を見るようにしましょう。
発進からゆっくり走ろうとせず、普通に発進し、発進後早い時期に安定した走りにして、それから時間を確保しましょう。また、最初から目標時間以上で走ろうとせず、バランスよく、安定して通過できるよう、次に目標時間で走れるよう段階的に練習してください。

ふらついた時は、車体を傾けず、ハンドルを左右に切って立て直してください。また、ふらつきそうになったら、早めに速度を上げ、落ちないで通過することが重要です。

目標時間	大型二輪	10秒以上
	普通二輪	7秒以上
	小型二輪	5秒以上

11 バランスのとり方（曲線）

- ・ 8の字・S字・クランク・スラロームを練習します。（小型二輪はスラロームを除く）
- ・ 各課題全般的には、一本橋と同様に、すぐ近くを見ないで、次のカーブ、次のカーブと目線を先へ移動し、早めに進路をイメージし、イメージの中で車両を誘導してください。

・ 8の字・S字

二輪車は、カーブで車体を傾け走行し、また、カーブの出口では、緩やかに加速することにより、車体をおこします。8の字・S字では微妙なアクセルワークが要求されます。

・ クランク

クランクでは、特に、今通過しているカーブに目線が行きがちです。目線が近いと、内輪差などを考えた次の進路が描けず、カーブの出口、および、次のカーブで失敗しやすくなります。

・ スラローム

スラロームも通過時間を要求されます。スラロームではリズムを大切にしてください。速く通過しようとするあまり、オーバースピードで進入すると、後半でリズムが取れずパイロンに接触したり、タイムがでなくなります。ゆっくりでもリズムよく安定して通過した方が逆にタイムがでます。

目標時間	大型二輪	7秒以内
	普通二輪	8秒以内

技能教習 1 段階 ～ワンポイント 3

教習項目とワンポイントアドバイス（続）

12 車両特性を踏まえた運転

- ・ シミュレーターを使った教習です。

二輪車は、四輪車に比べ非常に不安定な乗り物であるとともに、体が露出しているため、転倒が、重大事故に結びついてしまいます。ちょっとした路面の変化も瞬時にとらえ運転操作に反映させないと転倒事故に結びついてしまいます。この時間では、事故をおこさない運転技量ではなく、車両特性を知ることにより、未然に事故回避する運転方法を身につけてください。

13 坂道の通過

- ・ 下り坂は、加速度が付き速度が速くなってしまいます。エンジンブレーキの効きが悪いため前・後輪ブレーキを早めに使ってください。

14 坂道における停止及び発進

- ・ 平坦での発進より、力が必要なので、通常の発進に比べ、ややエンジン回転をあげ発進してください。リアブレーキをゆっくりはなしてください。

15 オートマチック車の運転

- ・ 特別実施する課題はありません。みきわめの直前で実施します。時間に余裕がある場合は 1 段階全体をトータルで練習してください。

16 教習効果の確認（みきわめ）

- ・ 技能第一段階の項目 12・15 を除く全項目の「確認」（みきわめ）を行います。みきわめが「良好」となるといよいよ技能第 2 段階へと進みます。

技能 1 段階みきわめ「良好」になったら

- 技能 1 段階のみきわめが「良好」となるといよいよ 2 段階の教習です。
学科 1 段階を全て受講していないと技能 2 段階へ進むことができません。
- 技能 2 段階の最初の 2 時限はシミュレーターによる教習です。シミュレーターを 2 時限教習しないと実車教習を実施できません。現在取得済みの予約がシミュレーターに変わることはありません。「予約機 ～特殊教習予約」参照の上、別途予約してください。
みきわめが「良好」となった当日の技能教習予約は、自動的にキャンセルになります。
- 1 段階みきわめが「良好」となり、1 段階学科を全て（10 教程）受講していれば、学科 2 段階を受講できます。（1 部技能とセットの教程を除く）
- 学科 2 段階のうち押印番号「Ⅱ-2」～「Ⅱ-4」（応急救護）は予約制の学科です。2 段階の技能教習中程までに受講すればよい学科なので、予約が 1 週間以上先になる場合もあります、「予約機」「～応急救護の予約」により早めに予約してください。
- 普通二輪の技能教習 2 段階では、1 日に 3 時限予約することができます。

技能教習 2 段階の 1 日の乗車可能時限

- 技能教習 2 段階では、1 日に 3 時限技能教習を受けることができます。ただし 3 時限連続の教習はできません。あいだに 1 時間以上の休憩をとる必要があります。
- 大型二輪の 1 日の予約時限は、2 段階も 2 時限に制限させていただいております。予約以外の乗車は、キャンセル待ち等をご利用下さい。

技能教習 2 段階 ～教習の歩み

確認 応急救護学科（押印番号「Ⅱ-2」～「Ⅱ-4」）の予約は取りましたか。

〈 〈 〈 〈 〈 受けられる教習 〉 〉 〉 〉 〉 〉

☆ 学科 Ⅱ-2 ～ Ⅱ-16

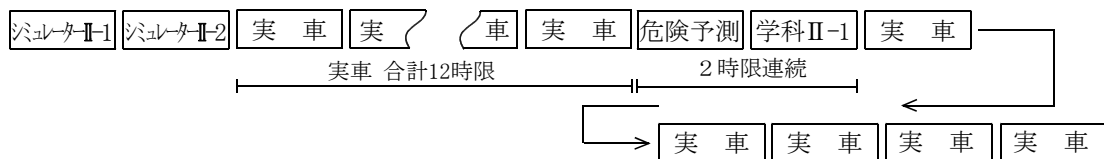
学科Ⅱ-1 は技能教習とセットです。

◎ 技能 2 段階の目標 応用走行

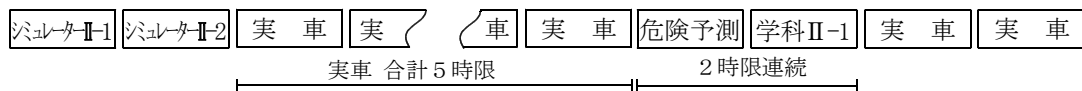
- ① 交通法規に従った正しい走行ができる。
- ② 交通の状況についての情報を的確に読み取りながら快適な運転ができる。
- ③ 二輪車の運転に伴う危険を予測した運転ができる。
- ④ 二輪車の車両特性を理解し、余裕のある安全運転ができる。

教習の歩み

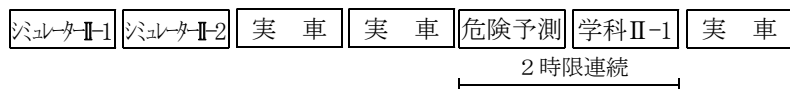
大型二輪 A T 限定 20 時限



普通二輪 A T 限定（ 400CC） 10 時限

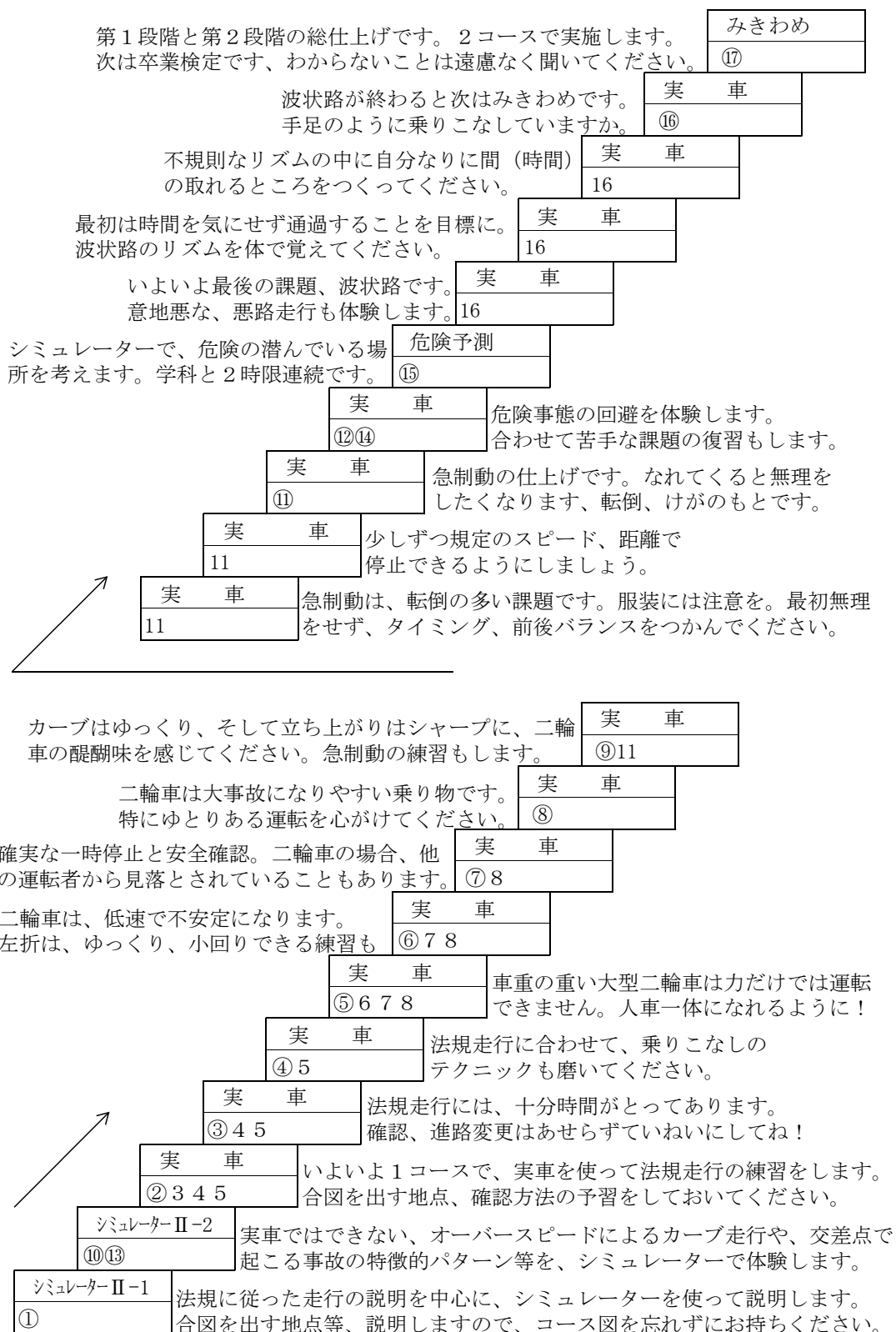


小型二輪 A T 限定（ 125CC） 6 時限



危険予測 技能教習 1 時限、学科教習 1 時限の計 2 時限を連続で、複数教習生で実施します。

教習の Step (大型二輪 AT 限定)



技能教習 2 段階

～教習の S t e p

普通二輪 A T 限定

小型二輪 A T 限定

教習の S t e p （普通二輪 A T 限定）

第 1 段階と第 2 段階の総仕上げです。2 コースで実施します。
次は卒業検定です、わからないことは遠慮なく聞いてください。

みきわめ

⑪⑫

苦手な項目の練習もできます。

実 車

苦手な項目を克服しましょう。

⑭⑮

シミュレーターを使って、危険の潜んでいる
場所を研究します。学科との 2 時限連続です。

危険予測

⑮

急制動の仕上げです。慣れたからと無理し
ないで。危険事態の回避も体験します。

実 車

⑪⑫

実 車

⑨⑪

急制動は、転倒の多い課題です。服装には注意
を。また、最初から無理をしないでください。

実 車

⑤⑥⑦⑧

法規走行の仕上げです。合図、確認、進路変更大変
ですが、正しく、正確に、そしてスピーディーに。

実 車

③④⑤⑥

法規走行を引き続き練習します。2 コースを走行する
場合があります、コースを覚えてきてください。

実 車

②③④⑤

いよいよ 1 コースで、実車を使って法規走行の練習をします。
合図を出す地点、確認方法の予習をしておいてください。

シミュレーターⅡ-2

⑩⑬

実車ではできない、オーバースピードによるカーブ走行や、交差点で
起こる事故の特征的パターン等を、シミュレーターで体験します。

シミュレーターⅡ-1

①

法規に従った走行の説明を中心に、シミュレーターを使って説明します。
合図を出す地点等、説明しますので、コース図を忘れずにお持ちください。

教習の S t e p （小型二輪 A T 限定）

みきわめ

⑪⑫

1 段階と 2 段階の総仕上げです。

2 コースで実施します。

危険予測

⑮

シミュレーターを使って、危険の潜んでいる
場所を研究します。学科との 2 時限連続です。

実 車

⑪⑫⑭⑮

急制動の練習です。

他にも、危険事態の回避や、悪路を体験します。

実 車

②～⑨

いよいよ 1 コースで、実車を使って法規走行の練習をします。
合図を出す地点、確認方法の予習をしておいてください。

シミュレーターⅡ-2

⑩⑬

実車ではできない、オーバースピードによるカーブ走行や、交差点で
起こる事故の特征的パターン等を、シミュレーターで体験します。

シミュレーターⅡ-1

①

法規に従った走行の説明を中心に、シミュレーターを使って説明します。
合図を出す地点等、説明しますので、コース図を忘れずにお持ちください。

小型二輪教習は、法令により決められた最短時限の中に、多くの課題が
盛り込まれています、予習復習を特に十分行ってください。

学科教習の進度（学科 2 段階）

番号	受講日	時限
1	/	

押印番号「Ⅱ-1」は技能教習とのセット学科です。

番号	受講日	時限	番号	受講日	時限	番号	受講日	時限	番号	受講日	時限
2	/		5	/		8	/		11	/	
3	/		6	/		9	/		12	/	
4	/		7	/		10	/		13	/	
									14	/	
									15	/	
									16	/	

押印番号「Ⅱ-6」は運転適性検査の診断書を使います。必ずお持ちください。

教習の記録

月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									

技能教習 2 段階 ～進度とチェック

技能教習の進度とチェック

項目の修了 教 習 項 目

月 日	1 路上運転にあたっての注意と法規走行
月 日	10 カーブの体感走行
月 日	13 ケース・スタディ（交差点）
月 日	2 通行区分など
月 日	3 走行ポジションと進路変更
月 日	4 交差点の通行（直進）
月 日	5 交差点の通行（右折）
月 日	6 交差点の通行（左折）

確認 「Ⅱ-1」を除く学科 2 段階は受講しましたか。

月 日	7 見通しの悪い交差点の通行など
月 日	8 安全な速度と車間距離
月 日	9 カーブの安全走行

確認 危険予測も間近です。学科Ⅱ-1を除く学科は受講し、危険予測受講後、卒検前学科効果測定を受験できるようにしてください。教習が進めなくなります。

月 日	11 急制動
月 日	12 回避
月 日	15 危険を予測した運転

技能 1 時限と学科教程「Ⅱ-1」（ディスカッション）がセットの 2 時限連続です。

確認 学科 2 段階をすべて受講したら、卒検前学科効果測定にチャレンジして下さい。合格しないとみきわめの予約がとれません。

月 日	14 交通の状況および道路環境に応じた運転
----------------	-----------------------

※ 大型二輪、小型限定は、「危険を予測した運転」前に実施

月 日	16 高度なバランス走行など
----------------	----------------

※ 小型限定は、「危険を予測した運転」前に実施

確認 卒検前学科効果測定に合格しましたか。
次回みきわめが「良好」になるといよいよ卒業検定の申込です、検定料の用意をお願いします。

月 日	17 教習効果の確認（みきわめ）
----------------	------------------

お疲れさまでした、卒業検定の申込をしてください。

教習項目とワンポイントアドバイス

1 路上運転にあたっての注意と法規走行

- ・ 実際に一般道路を走行することはできません。一般道路では多くの危険が待ち受けています。二輪車は開放的なレジャー性の高い乗り物です。正しい交通法規を身につけ、楽しい乗り物としてください。

2 通行区分など

- ・ キープレフト（左寄り）を走るのが基本です。所内にはありませんが、路側帯の中、外側線の左側の通行は交通違反ですし、そのような場所での追い越しは特に危険です。

3 走行ポジションと進路変更

- ・ 進路変更の合図は、3 秒前です。確認の際ふらついたり、確認しながら進路が変わってしまわないよう注意してください。

4 交差点の通行（直進）

- ・ 交差点は、特に事故の多い場所です。直進二輪車と、対向右折車の事故も多く見られ、直進だからと、他の自動車横のすり抜けは特に危険です。

5 交差点の通行（右折）

- ・ 右左折合図は交差点の30m手前ですが、その際センターライン（50cm以内）、または、左に寄って（1m以内）から右左折します。この行為は進路変更です。ですからこのような場合30m+ 3 秒前に合図をします。
- ・ 右折してすぐ左折等いろいろな場合がありますが、交通ルールに照らし進路の取り方、合図位置をいろいろ考えてみましょう。

6 交差点の通行（左折）

- ・ 二輪車は、他の交通から見落とされやすく、事故に結びつく可能性の高い乗り物です。特に交差点では、合図ばかりでなく、メリハリのある走行進路で意思表示してください。

7 見通しの悪い交差点の通行など

- ・ 交差点には、標識標示により優先関係が示されている交差点があります。逆優先の見通しの悪い交差点では徐行し、優先道路の場合でも、見落とされている可能性が高く、特に注意をしてください。

8 安全な速度と車間距離

- ・ 普通自動車に比べ二輪車の制動距離は、多く必要とします。急制動による転倒も多く、前車が急停止することを考え、十分に車間距離を取ったゆとりある運転をしてください。

9 カーブの安全走行

- ・ カーブを安全に走行するためには、カーブ手前の直線部分で、十分速度を落とし、カーブの出口付近から緩やかに加速する、スローインファストアウト走行をしてください。

技能教習 2 段階 ～ワンポイント 2

教習項目とワンポイントアドバイス

10 カーブの体感走行

- ・ 左カーブでは、遠心力の力で対向車線に、右カーブでも、オーバースピードによるスリップ後、グリップの急回復からおこるハイサイドにより対向車線にでてしまったり、重大事故を引き起こす可能性があります。

11 急制動

- ・ 多くの課題の中で、特に転倒が多く、高速で転倒するため危険の多い課題です。
最初は、遅いスピードで、ブレーキのタイミング、前ブレーキと後ブレーキの割合をつかんでください。慣れてきたら、規定の速度、範囲で止まれるように練習します。
発進後、すみやかに規定の速度まで加速し、早めに安定した速度で走るのもコツです。

12 回避

- ・ 危険回避の原則は、あくまでもブレーキですが、ハンドルとブレーキによる危険回避を体験程度に実施します。

13 ケース・スタディ（交差点）

- ・ 交差点は特に事故の多い場所です。また、二輪車特有の事故も多くあります。交差点で起こる事故の特徴を知り、危険を事前に避けられる運転を身につけてください。

14 交通の状況及び道路環境に応じた運転

- ・ これまでの時間でほぼ十分に乗りこなしていただけるかと思います。今までの練習を基礎に一般市街地を想定し、トータルで練習してください。また、苦手な課題があれば、集中して練習してください。

15 危険を予測した運転

- ・ シミュレーターによる技能教習と、ディスカッションの2時限連続でおこないます。
運転は「認知」「判断」「操作」の繰り返しですが、特に、認知、判断により、危険を的確に予測し、事前に危険を回避する能力を身につけてください。

16 高度なバランス走行など

- ・ ちょっと意地悪な、悪路など体験します。
- ・ 波状路（大型二輪のみ課題）
不等間隔で設置した段差を、着座姿勢で通過します。目標時間は（5秒以上）です。
ゆっくり通過することも大変ですが、段差路では、速度が速ければ通過しやすいともかぎりません。着座姿勢に注意し、段差を全身で感じ、一つずつ乗り越えるようイメージでアクセルを調整してください。

17 教習効果の確認（みきわめ）

- ・ コース2で、技能1段階と2段階の課題を走行して総合的に確認します。
2段階のみきわめが「良好」になると、卒業検定を残すだけです。わからないことは遠慮なく質問してください。

学科効果測定申込
～受験資格
～受験申込

二輪車教習では、普通車で実施の仮免前学科効果測定（中間テスト）の受験の必要はありません。

卒検前学科効果測定（総合テスト）に合格することが、技能２段階みきわめ実施の条件です。早めに合格できるようお願いします。

受験資格

- 卒検前学科効果測定（総合テスト）は、学科１段階および、学科２段階をすべて（全26教程）受講後です、技能教習とのセット学科（Ⅱ-1）、応急救護学科（Ⅱ-2～Ⅱ-4）を含みます。
すべての学科教習を受講していることが条件ですが、技能教習の進捗にかかわらず受験できます。

受験申込

- 学科予定表で「効果測定」と書かれた所で実施します。事前の予約は必要ありません。仮免前学科効果測定と卒検前学科効果測定は同じ時間で実施します。
- 開始30分前から５分前の間予約機３番で受付いたします。教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向に軽くリーダーに差し込んでください。受験票が発行されます。その際、該当する試験料の残高が不足していたり、試験料に相当する「フリー入金」残高がないと受験できません。学科試験の際、会計が大変込み合います。残高不足の場合は、前もって入金しておいてください。
- 効果測定は、２階第１教室で行います。申込みを済ませたら受験票、教習原簿を持って教室でお待ちください。
席は決められております。仮免前学科効果測定、卒検前学科効果測定別に教室入り口に掲示しております。

受験料	卒検前学科効果測定（１回）	2,000円
-----	---------------	--------

学科効果測定受験

～受験にあたって

～タイムスケジュール

受験にあたって

- 学科試験は正誤選択式です。卒検前学科効果測定は105問を50分で実施し、90%以上の正解が合格です。
- 卒検前学科効果測定には「イラスト問題」があります。1つの交通場面を表した絵より3問出題され、3問すべて正解しないと点数が与えられません。1つの「イラスト問題」の配点は2点で、5イラスト問題（15問）出題されます。
- 免許センターで行う本試験に近い状態で実施し、解答はマークシートに記入していただきます。鉛筆（HB・B）、消しゴムをお持ちください。鉛筆以外で記入したものは機械が読みとれません。また、シャープペンでの記入も線が細く読みとれない場合があります。
- 時間には遅れないよう入室してください。試験中は担当指導員の指示を守り、不正行為と疑われるような行動には注意してください。
- 学科試験中に携帯電話、ポケットベルが鳴ると他の受験生の迷惑となります。残り時間の有無にかかわらず退室していただく場合があります。携帯電話等お持ちの方はスイッチを切って入室してください。
- 試験問題には、普通自動車、大型自動車に関する問題もあります。同じ道路交通法のもと、同じ道路環境を走行するからです。普通自動車の免許取得の際には、学科試験が免除されており、免許センターの試験も同様です。二輪車だからとおろそかにせず、十分勉強し、身につけてください。
- 学科教習だけではなかなか合格できません。自らも進んで勉強するようにしてください。受付で問題集を販売しております。問題集をやることによって自分で理解していないところを見つけだし、学科教本で勉強をくり返し理解を深めてください。問題集をやっても「こんな問題は○・×」方式では逆に点数を取ることは出来ません。
- 発表は試験終了後2時限めの中で行い、あわせて間違いやすい法令等の解説を行います。

タイムスケジュール（10:10開始の場合）

9:40	10:05	10:10		10:25	10:55	11:15	11:20		11:40	12:00
△	△	△		△	△	△	△		△	
受付 開始	受付 終了	入室	要領説明	試験 開始	中間 終了	総合 終了	中間 発表	中間解説	総合 発表	総合解説

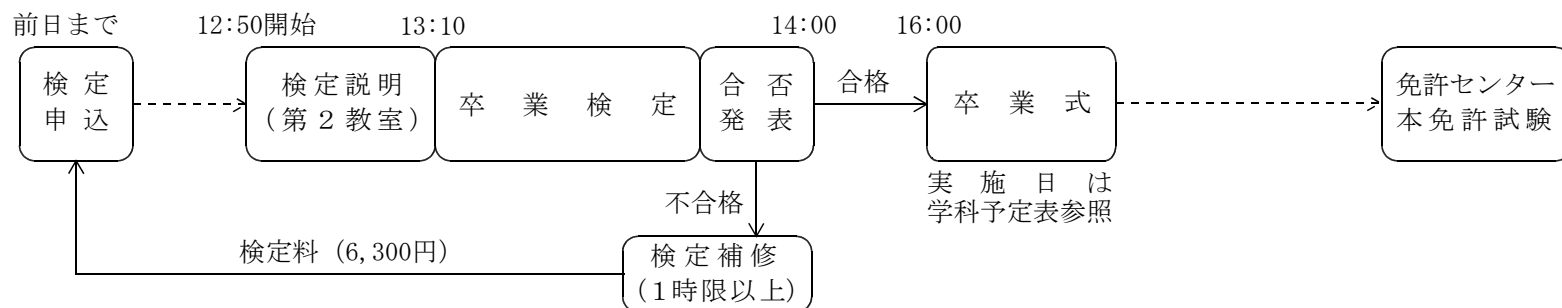
注意 おおよそのスケジュールを表しております。実際とは異なる場合もあり、可否の発表を行う時は、放送でご案内いたします、放送に従って入室してください。

技能教習予約

- みきわめが「良好」となったときに、他に当日の予約がある場合は、教習終了後速やかに申し出てください。自由教習（検定にまだ不安がある方は練習することが出来ます。）を希望しない場合はキャンセル処理します。教習進度によるキャンセルのためキャンセル料は不要です。
- 翌日以降の予約は、検定申込をしない限りキャンセルにはなりません。自由教習で乗車しない場合は予約機でキャンセル処理してください。そのままにすると無断キャンセルの扱いとなり、キャンセル料がかかります。PM. 6:30以降予約機で翌日分の予約をキャンセルすると、キャンセル料が掛かります。キャンセルする場合は係りにお申し出ください。
- 検定に不安があり自由教習を希望する場合の予約は通常の技能教習予約と同じ要領でお取りください。通常の技能教習料は必要です。
- 自由教習では卒業検定のための具体的なアドバイスを受けることができます。また、苦手な点などあれば担当指導員に遠慮なくお申し出ください。

卒業検定までの期限

- 技能教習 2 段階のみきわめが「良好」となった日から 3 ヶ月以内に卒業検定に合格しないと、教習はすべて無効となります。なるべく早く卒業検定を受けてください。



検定申込は、検定料6,300円が必要です。

希望検定日前日まで（定員になり次第締切）に申し込みしてください。

- 卒業式は学科教習予定表の「卒業式」で行います。始まる前に出欠の確認をしますので遅刻すると出席できません。
（予約の必要はありません）
- 印鑑（認印）、筆記具、アンケート用紙、および、卒業検定時に提出していない方は住民票（免許所持者を除く）をお持ちください。
- 卒業式で卒業証明書の授与を行います。あわせて免許センターでの受験要領について説明いたします。

卒業検定から卒業式までのスケジュール

卒業検定の受検資格

- 技能教習２段階のみきわめが「良好」となれば卒業検定の申込ができます。
- みきわめが「良好」となった日から、３ヶ月以内に卒業検定に合格しないと教習はすべて無効となります。早めに受検してください。

卒業検定の申込

- 卒業検定は臨時休校日を除き、土・日曜日は毎週、平日は隔日で実施しております。学科予定表「二輪卒検」で実施しております。集合時間はPM. 12:30です。PM. 20:00までには卒業検定が終わる予定です。
- 希望検定日の前日までに申込をしていただきますが、前日であっても申込者が定員になり次第締め切ります。みきわめが「良好」になったら、速やかに検定申し込みをしてください。
- 受検者が定員に満たない場合には、当日の申込で受検できることがありますので、受付にお問い合わせください。ただし、自由教習を含め技能教習を受けた日は法令により卒業検定は受けられません。
- 会計係に卒業検定申込書が用意してあります。もれなく記入し、教習生カード、教習原簿と卒業検定料6,300円をお持ちの上、会計係で申し込みしてください。フリー入金からのお支払いもできます。
- 検定予約の取消は検定日前日（前日が休校日の時は直近の営業日）のPM. 12:30までに連絡してください。それを過ぎると、連絡をいただいてもキャンセル料として検定料相当額を申し受けますので、注意してください。

卒業検定日当日

- 検定当日は教習生カード、筆記用具と印鑑（認印）をお持ちください。また、他種免許所持者は免許証もお持ちください、免許証を忘れると受検できませんし、キャンセル料がかかります。
- PM. 12:50までに第２教室に集合してください。教習原簿、配車券は必要ありません。遅刻しそうなときや、当日急に都合が悪くなった場合は必ず連絡してください。
- 服装や靴など運転に支障のない準備をしてください。
- 身体適性条件が眼鏡使用の方は、眼鏡またはコンタクトをつけないと受検できません。
- 他種免許のない方は、本籍地の記載された新しい住民票をお持ちください。免許センター提出書類に添付します。入校時に提出していただいた住民票は使えませんのでご注意ください。
なお、検定当日に間に合わないときは、卒業式の際に提出してもやむをえませんが、その場合は、書類を御自分で作成していただくことになりますので、ご容赦ください。

卒業検定

～実施にあたって

～終わったら

卒業検定実施にあたって

- 技能検定は100点からの減点法で実施し、70点以上が合格です。
- 検定は乗車から降りるまでが採点の範囲（エンジンの始動停止を含む）です。発着点についてからといって安心せず最後まで気を引き締めて終わらせてください。
- 検定は、決められたコースを走行して実施します。コースを間違えても減点はありません。ただし、正しいコースにもどる間も採点の範囲になります。
- PM. 1:45頃全員の検定が終わります。合格発表は採点の後、二輪棟で行います。
- 発表の後検定員がワンポイントアドバイスを行います。合格した方は免許取得後の参考に、残念ながら不合格の方は、補修教習、次回卒業検定の参考にしてください。

卒業検定が終わったら

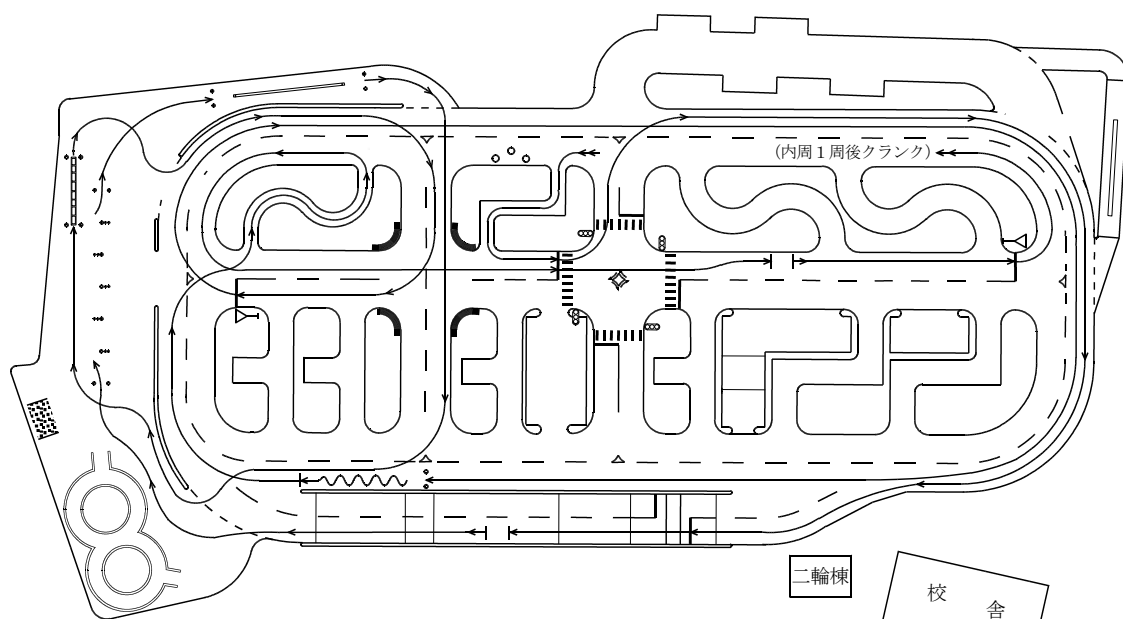
- 卒業検定合格者は会計係でSDカード（運転記録証明書交付申請書）に捺印していただくとともにアンケート用紙をお渡しします。卒業式出席の際にお持ちください。
- お預かりしたフリー入金、技能教習料のうち使わなかった金額は卒業式の前に払い戻しを行います。印鑑（認印）、教習生カードを持って会計係で清算してください。なお、キャンセル料等未払い分があればそのとき清算していただきます。残金のない方も清算書をお渡しします。
- 不合格の方は、1時限以上の補修教習を受けた後でないと次の卒業検定は受検できません。補修教習は窓口でできるだけ早い時期に受けられるようお取りします。ワンポイントアドバイスの後、受付においでください。
- 卒業検定の当日に卒業式を実施しているときは、なるべくその日の卒業式に出席するようにしてください。卒業式で卒業証明書の授与を行います。

卒業式の実施日

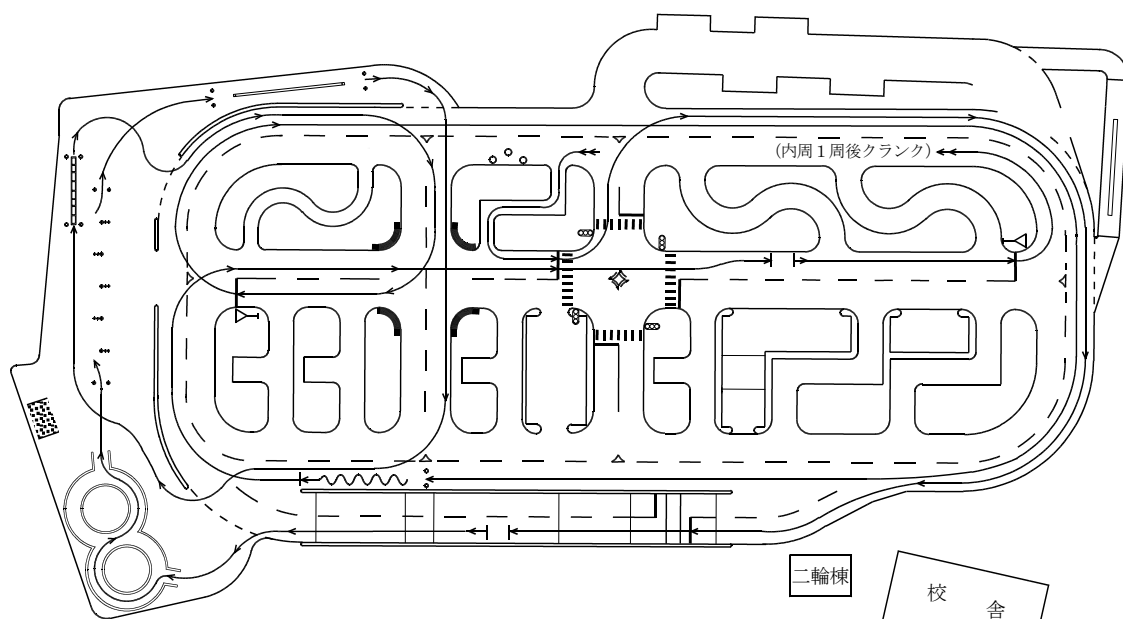
- 学科教習予定表の「卒業式」で行います。卒業式に予約の必要はありません。卒業式が始まる前に出欠の確認を取りますので遅刻すると出席できません。早めにおいでください。
- 卒業式には、印鑑（認印）、筆記用具、アンケート用紙（卒業検定合格後、会計係で配布）、住民票の有効期限が切れている方で卒業検定時に提出していない方は住民票（本籍記載、他種免許所持者は不要）をお持ちください。
- 卒業式で卒業証明書の授与を行います。また、本免許試験の受験に必要な書類をお渡しして内容を確認していただきます。
- 免許センターの受験要領について詳しくご案内します。
- 卒業証明書の有効期限は卒業検定合格日から1ヶ年（審査は3ヶ月）です。期限を過ぎるとすべて無効となります。
- 卒業証明書が卒業検定に合格したことの唯一の証明であり、それにより免許センターでの技能試験が免除されます。卒業証明書を紛失しないよう大切に管理してください。
- 卒業証明書を手にされた皆さんは、安全な運転者としての技能を十分身につけていただいておりますが、本免許試験に合格し免許証の交付を受けるまでに運転すると無免許運転となります。当校での教習がすべて無効となる場合がありますので、1日も早く運転免許証の交付を受けるようお願いいたします。

大変お疲れさまでした。

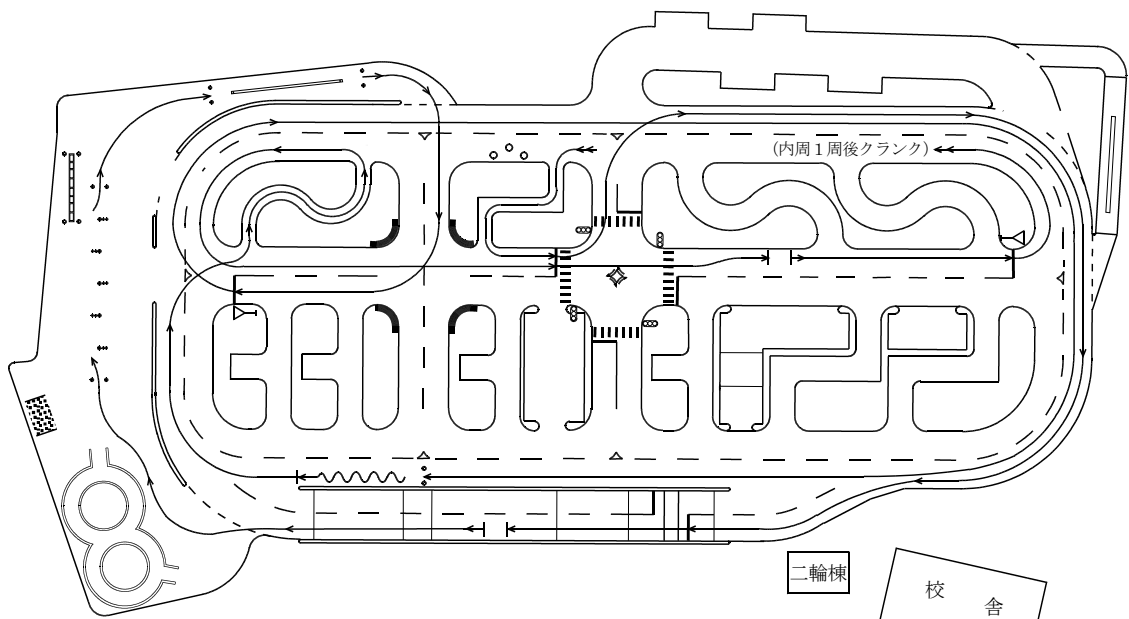
当校をご利用いただきありがとうございました。



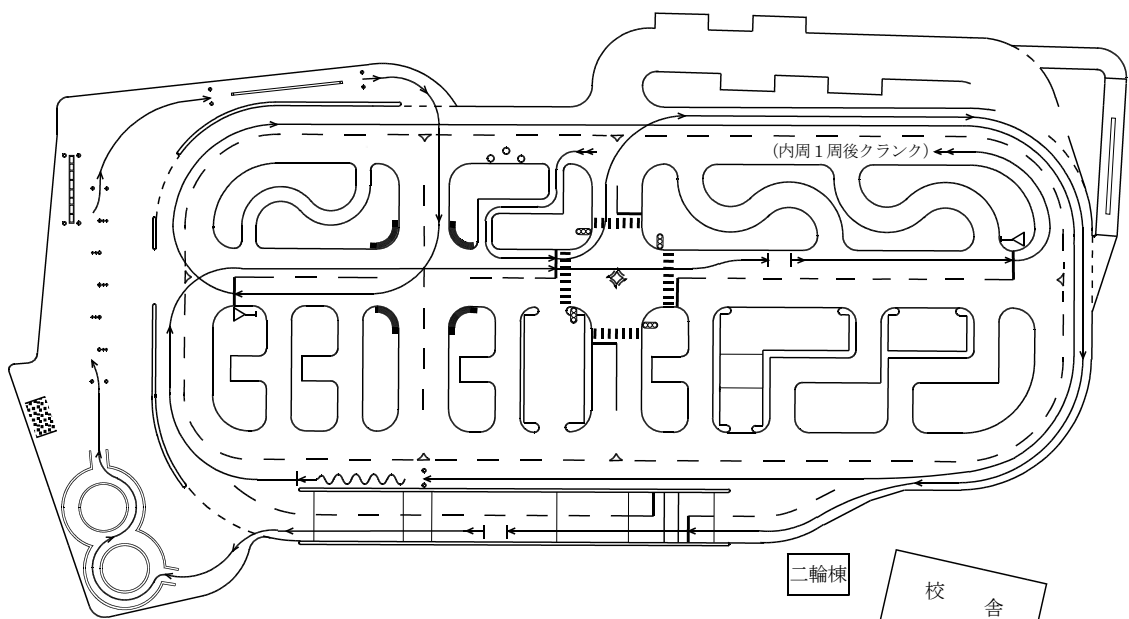
大型二輪 コース 1



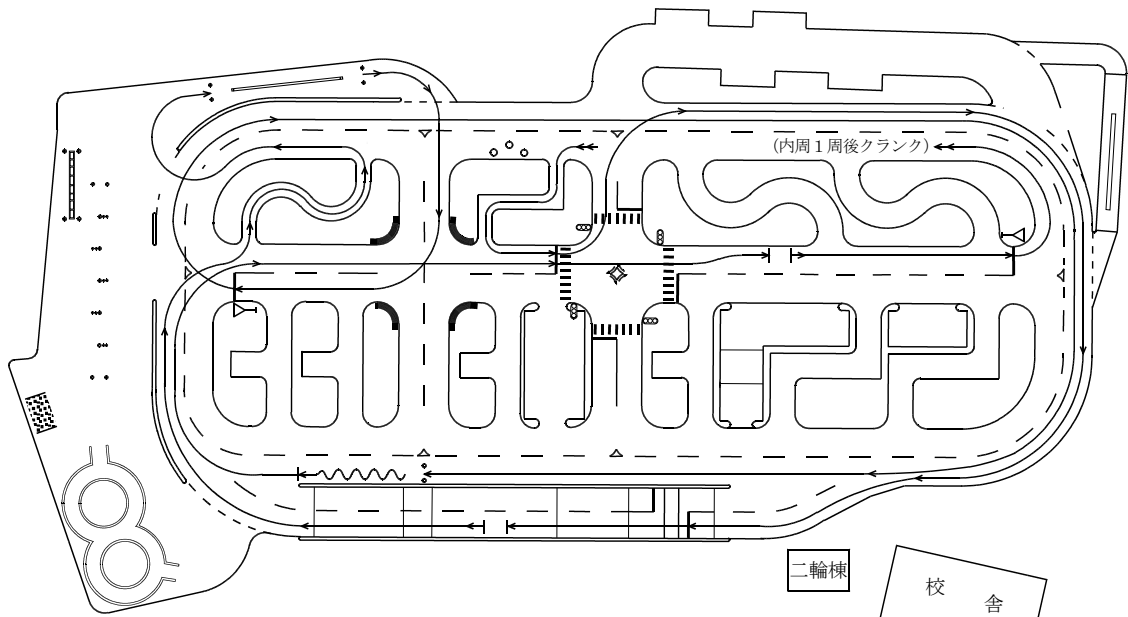
大型二輪 コース 2



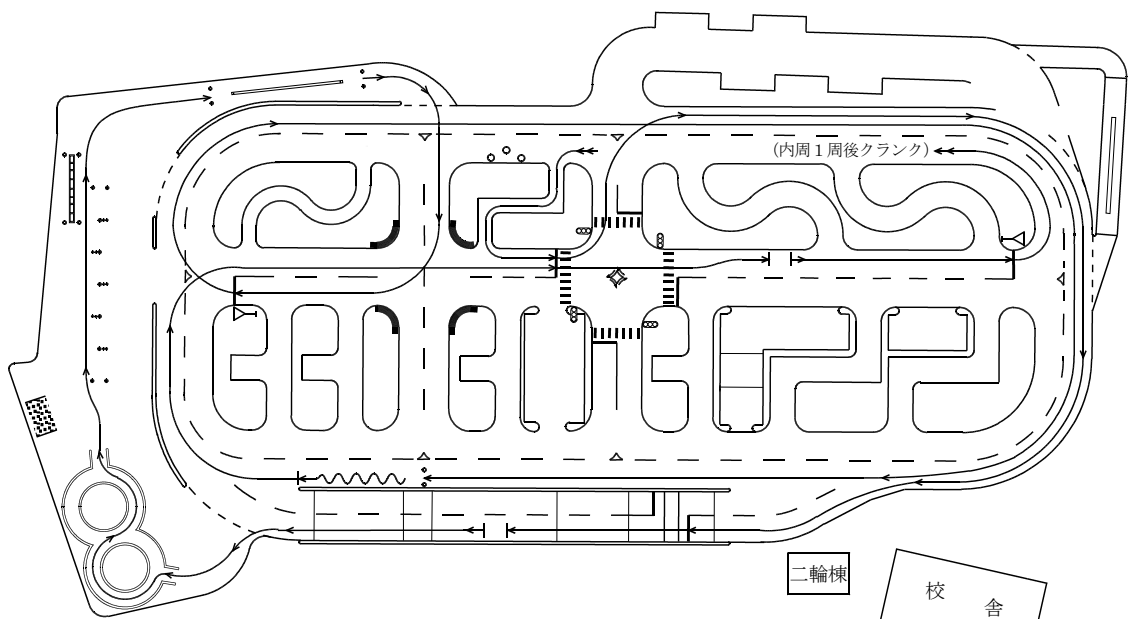
普通二輪 コース 1



普通二輪 コース 2



小型二輪 コース 1



小型二輪 コース 2

コース図
～コース図

